

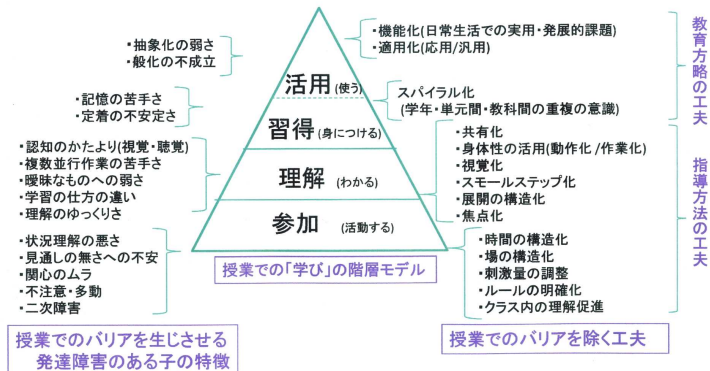
稲羽西小学校における学習支援のユニバーサルデザイン化

各務原市立稲羽西小学校

授業におけるユニバーサルデザインとらえ

学力の優劣や発達障害の有無にかかわらず、すべての子どもが、楽しく「分かる・できる」を目指して工夫・配慮する通常学級における授業のデザイン

授業のUD化モデル(2012年度版)



授業のユニバーサルデザイン研究会 <http://hwrm8.gyao.ne.jp/kokugouniversal/>

職員研修

児童の障がい理解

- ☐ 自閉症についての研修
- ☐ 自閉気質の対応の仕方
- ☐ 基本的な接し方
- ☐ 全校職員として共通理解の徹底

学習支援の具体的手立て

1) 板書と机間指導の工夫

<構造化された板書>

- ☐ シンプル化：華美な装飾や不必要な刺激の除去
文字の大きさ・行間の配慮

- ☐ 見える化：目で瞬時に理解できる工夫

<意図的な机間指導>

- ☐ プロセス評価：できた結果ではなく、努力や進捗状況の伸び認め励ます
- ☐ 困り感の把握：つまづきや困っている状況の理解
- ☐ 個別の教材提示：意欲化を促す

2) 児童が見通しを持てる

- ☐ 授業の流れを予告する
(授業の見通しを児童に持たせる)

- ◆何をどんな順序で行い、どう取り組み、どこで終わるのかを明確に示す
→タイムタイマーの活用
- ◆学習の順序をカードやイラスト化した掲示で示す

<算数学習>

課題提示→課題共有化→一人学び
↓
定着問題←全体学び←ペアorG学び

- ☐ 指導は短時間で！

見える化

- ☐ 簡単なことば、イラストで一目でわかる工夫
- ☐ 単純化
- ☐ 視覚教材の積極的活用
- ☐ プレゼン・動画等の活用の推進

3) 話し方の工夫

- ☐ 指示は具体的に、わかりやすく
⇒ 一時に一事

- ☐ センテンスの短い話の徹底
⇒ 一文一動詞

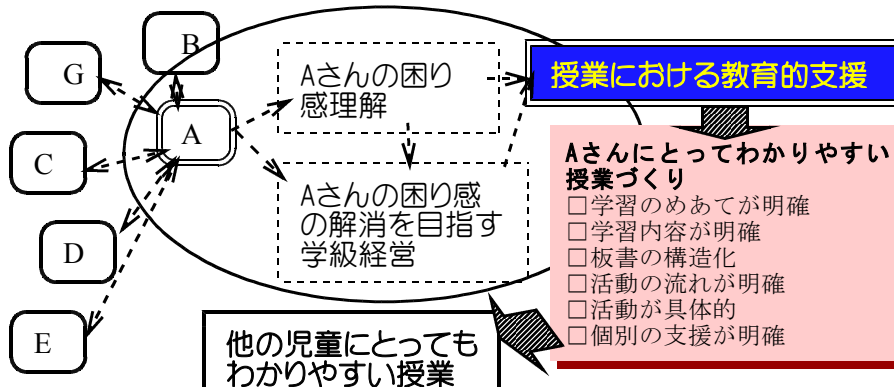
- ☐ 声の大きさ・抑揚・スピード・間の取り方

■曖昧な指示や曖昧な指導は禁物！

4) 肯定的な評価をする

- ☐ 注意・説教は逆効果！

- ◇できたことはしっかり評価
- ◇過程を大切に伸びを評価
- ◇具体的に指導する
→何が良かったか
→もっと伸びる指針を出す
- ◇注意も肯定的な言い回しに置き換えて指導する
- ◇授業内容が理解できなかったことを児童のせいにはしない



学習支援のユニバーサルデザイン化

学級育成

- ☐ 落ち着いて安心できる学級集団づくり→聞く・話す姿勢の徹底
→ペア・グループ活動における役割の位置付け